

平成 2 7 年度の活動報告及び
平成 2 8 年度の活動計画について

こども分科会

こども分科会

【平成 27 年度活動報告について】

1 子育て支援事業の充実(子育ての経済的支援)

子育てに対する不安や負担などを和らげ、安心して子どもを生み育てることができるよう、子育て支援事業の充実を図りました。

(1) 保育料の軽減

子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、平成 26 年 7 月から、保育料の引き下げを行いました。また、本年 4 月から、多子世帯への支援の充実を図るため、18 歳までの児童のうち、第 3 子以降の保育料を無料化しました。

(2) こども医療費助成の拡充

平成 27 年 10 月診療分から、助成対象を 18 歳までの児童に拡大するとともに、窓口負担(保険適用分)を無料化し、「現物給付方式」による助成を開始しました。

※ 18 歳までの児童：18 歳に達した日以降最初の年度末まで

2 公立保育園再編基本計画の策定(保育サービスの充実)

保育の課題に対応し、子どもたちが健やかに成長する環境を整えるため、公立保育園の再編基本計画を策定しました。

3 こども育成相談センター機能の充実(発達に遅れや障がいのある子どもへの支援)

平成 27 年 4 月に「こども育成相談センター」を開設しました。

これまでの「幼児教育相談室」の機能を拡充し、新たに臨床心理士を配置し、より専門的な視点からの支援、保育園や幼稚園・小学校への巡回指導による早期発見・早期療育の強化に取り組み、また、児童と関わる保育士や教員等の支援者の人材育成を行い、福祉・保健・教育・就労等関係機関との連携を図りながら、支援体制の強化を図りました。

○ 第 1 回健康福祉審議会こども分科会(第 1 回子ども・子育て会議)【7 月 8 日開催】

- 1 「健康福祉審議会こども分科会(子ども・子育て会議)」について
- 2 「子ども・子育て支援事業計画」の概要について
- 3 平成 27 年度「子育て支援施策主要事業」の概要について
- 4 「公立保育園再編基本計画」策定に関する基本方針について
- 5 その他

○ 第 2 回健康福祉審議会こども分科会(第 2 回子ども・子育て会議)【8 月 12 日開催】

- 1 第 1 回こども分科会の質疑等から
- 2 公共施設マネジメントについて
- 3 再編に向けたこれまでの検討の経過とその内容について
- 4 その他

○ 第 3 回健康福祉審議会こども分科会(第 3 回子ども・子育て会議)【9 月 30 日開催】

- 1 加賀市の保育園数の変遷と今後について
- 2 公立保育園の休園基準に基づく経過と今後について

- 3 基礎データ等について
- 4 公立保育園再編に向けた課題の整理について
- 5 第2回こども分科会の質疑等から
- 6 その他

○第4回健康福祉審議会こども分科会（第4回子ども・子育て会議）【11月11日開催】

- 1 第3回こども分科会の質疑等から
- 2 公立保育園の今後の運営について（説明会から）
- 3 公立保育園再編に向けた課題の整理について
- 4 加賀市公立保育園 再編基本計画（素案）について
- 5 公立保育園の再編計画（未定稿）
- 6 その他 児童センターの休館日の変更について

○第5回健康福祉審議会こども分科会（第5回子ども・子育て会議）【1月13日開催】

- 1 第4回こども分科会の質疑等から
- 2 加賀市公立保育園 再編基本計画（素案）について
- 3 その他 平成27年度子育て支援施策の実施状況、今後のスケジュール（案）について

○第6回健康福祉審議会こども分科会（第6回子ども・子育て会議）【2月10日開催】

- 1 加賀市公立保育園 再編基本計画（案）について
- 2 再編基本計画の答申について
- 3 今後のスケジュールについて
- 4 子育て支援事業等について

【資料等】 加賀市公立保育園再編基本計画について【概要】・・・資料7-1
加賀市公立保育園再編基本計画・・・・・・・・・・・・・資料7-2

公立保育園再編基本計画について 【概 要】

近年の急激な少子化や、子育て世代を取り巻く社会環境の変化、保護者のニーズが多様化している中で、市内の保育園児の約三分の二が法人立保育園へ入園する一方で、各地域の公立保育園は小規模化し、子どもの「社会性の育ち」を担保する集団保育の実施が難しくなってきております。

この度、これらの保育の課題に対応し、子どもたちの健やかな育ちのための環境を整備するための「加賀市公立保育園再編基本計画」を策定しました。

検討の経過

年月日	会議	主な内容
H27.7.8	第1回	・公立保育園再編基本計画策定に関する基本方針について
H27.8.12	第2回	・公共施設マネジメントについて ・再編に向けたこれまでの検討の経過とその内容について
H27.9.30	第3回	・加賀市の保育園数の変遷と今後について ・公立保育園の休園基準に基づく経過と今後について ・基礎データ等について ・公立保育園再編に向けた課題の整理について
H27.11.11	第4回	・公立保育園の今後の運営について(説明会から) ・公立保育園再編に向けた課題の整理について ・加賀市公立保育園 再編基本計画(素案)について
H28.1.13	第5回	・加賀市公立保育園再編基本計画(素案)について
H28.2.10	第6回	・加賀市公立保育園再編基本計画(案)について
【答申】		

2

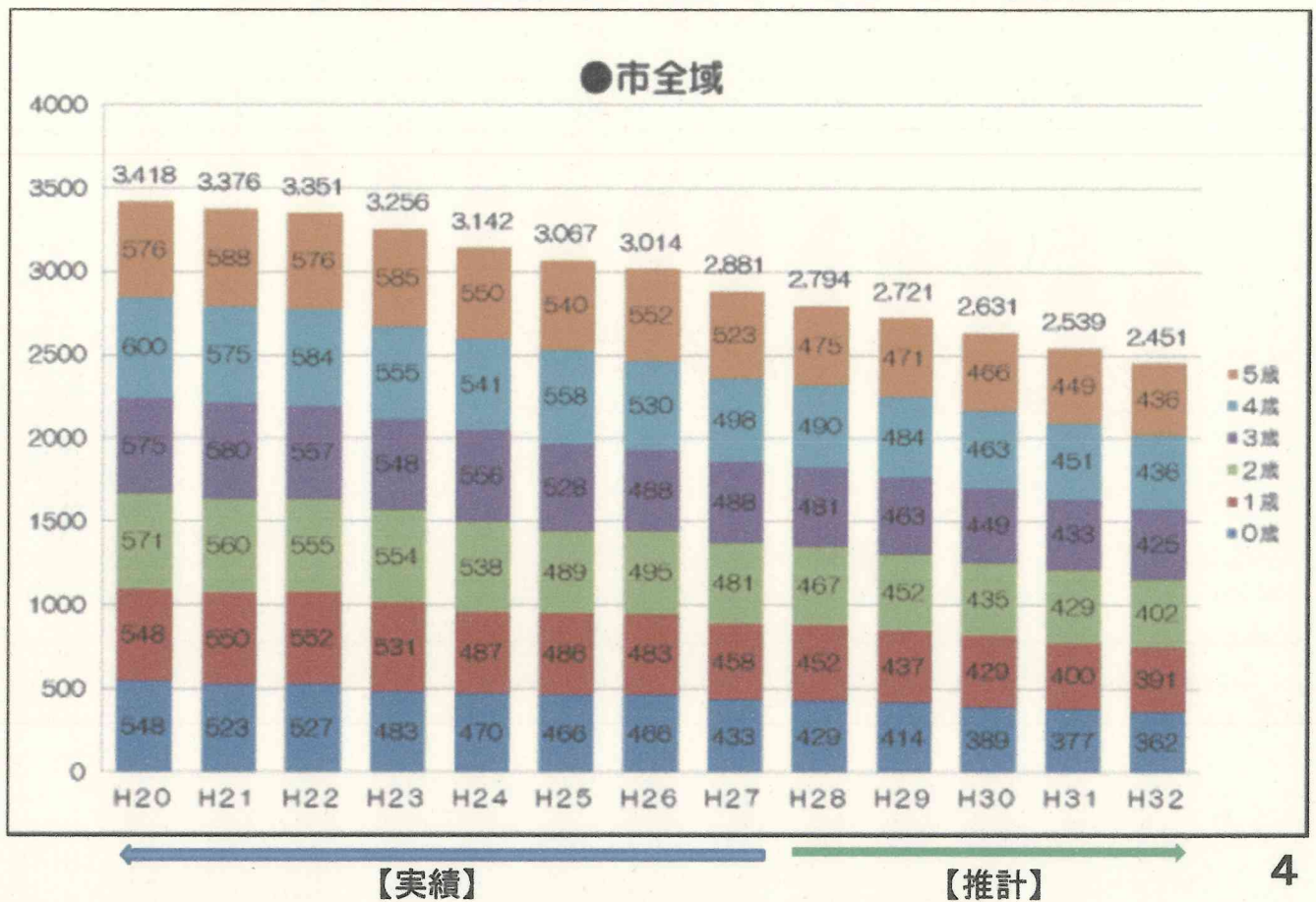
【再編の実施方針】

- (1) 1クラスあたりの標準規模は、20人程度を目指す。
- (2) 再編は、児童数30人未満の小規模園を優先して行うこととし、最長で3年間を目途に統合する。
- (3) 児童数30人以上80人未満の標準未満園は、暫定的に継続することとし児童数の推移を見ながら再編時期の検討を行う。
- (4) 法人立保育園が乳児保育や特別保育を担ってきた歴史的背景や法人立保育園のキャパシティ、地域の児童数推計等を踏まえ、民間活力を効果的に活用しながら、法人立保育園・公立保育園の協働のもと、再編を実施する。
- (5) 再編は中学校区を基本とするが、再編後の公立保育園は地域の子育て支援の拠点施設と位置付ける。

※ 公立保育園運営の休園基準については、今後も継続して適用する。

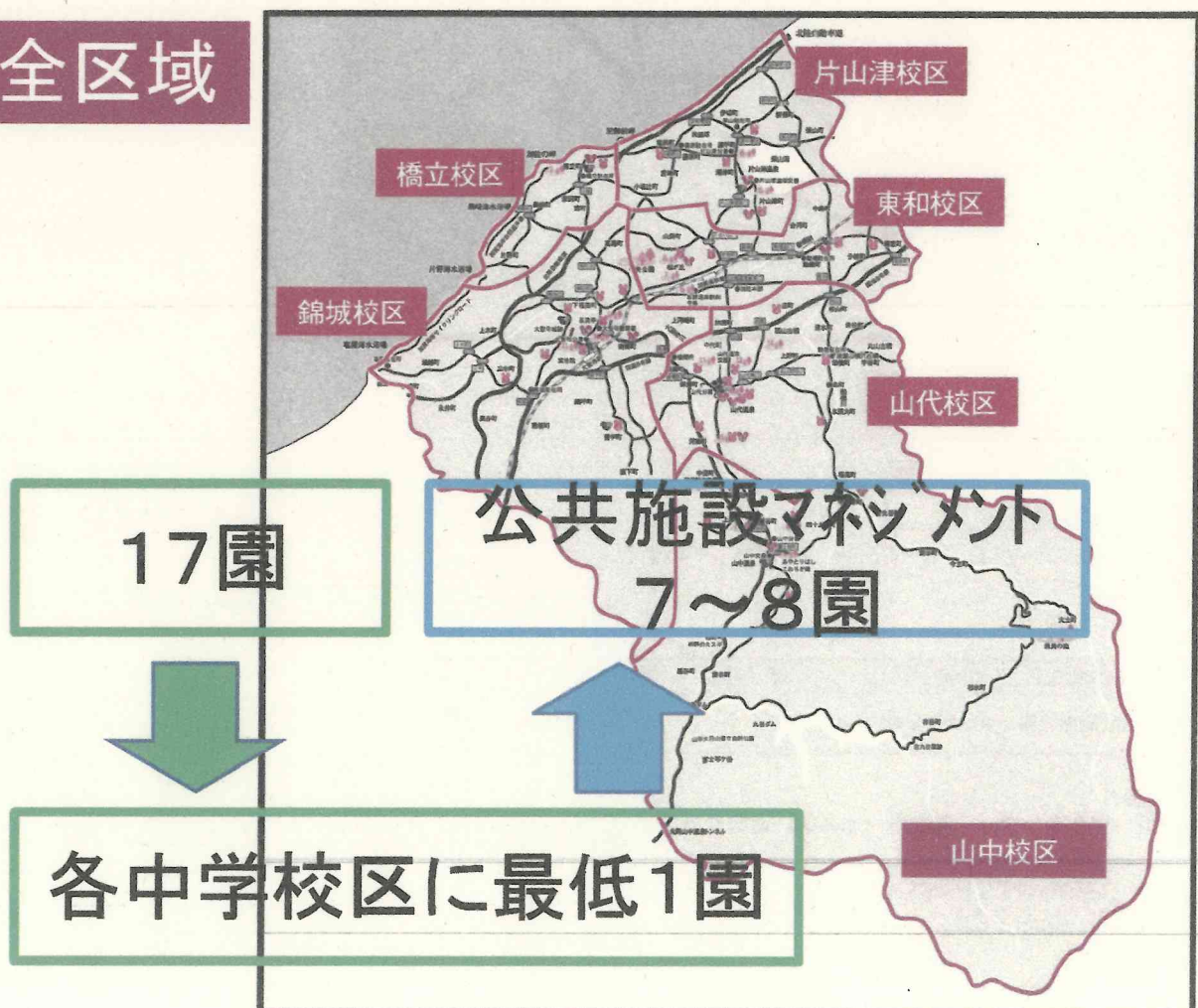
3

就学前児童数(各年4月1日現在)



4

全区域



5

錦城校区



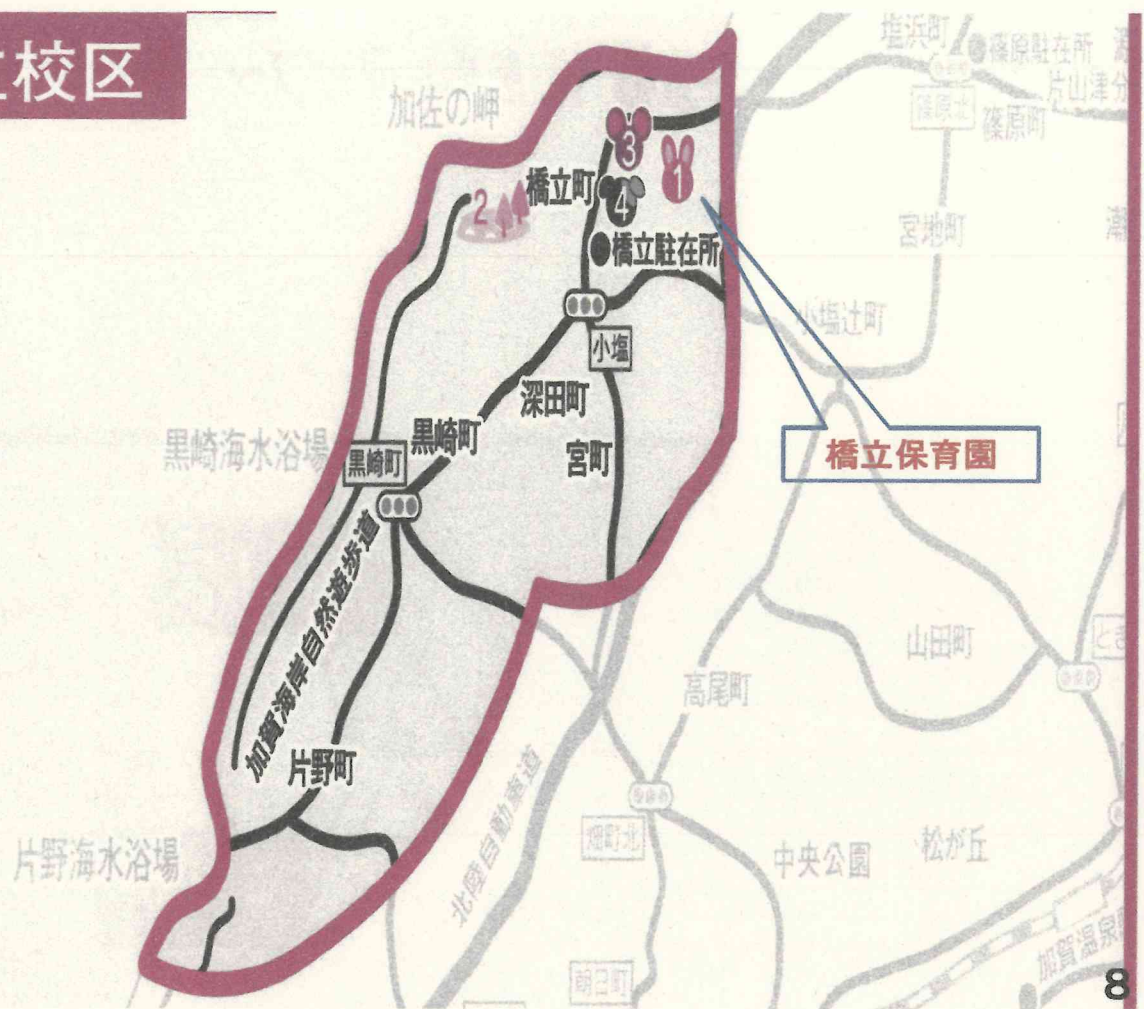
	定員	児童数	小規模	標準未滿	その他
大聖寺保育園	60人	45人		○	
錦城保育園	50人	27人	●		
三木保育園	30人	17人	●		H28.4見込 10名+新入園児
三谷保育園	30人	13人	●		H28.4見込 14名+新入園児
合 計	170人	102人			

法人立	定員	入園数	充足率
5 たちばな乳幼児保育園	150人	140人	93.3%
6 清和保育園	110人	100人	90.9%
7 聖光保育園	140人	140人	100.0%
合 計	400人	380人	95.0%

私立	定員	入園数	充足率
8 かが幼稚園	200人	61人	30.5%

H27.4.1現在

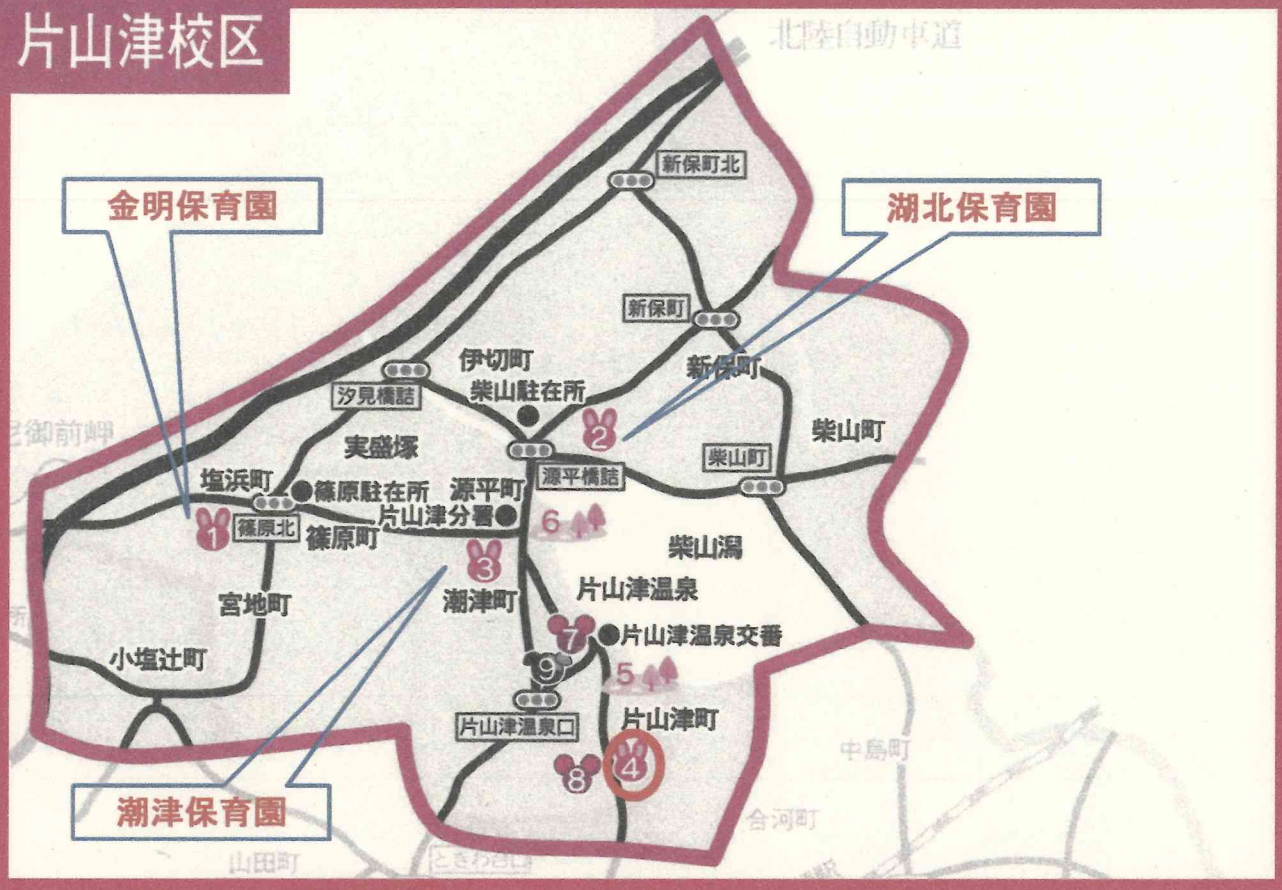
橋立校区



	定員	児童数	小規模	標準未満	その他
橋立保育園	95人	69人		○	

☆ 中学校区に最低1園を配置 ☆

片山津校区



10

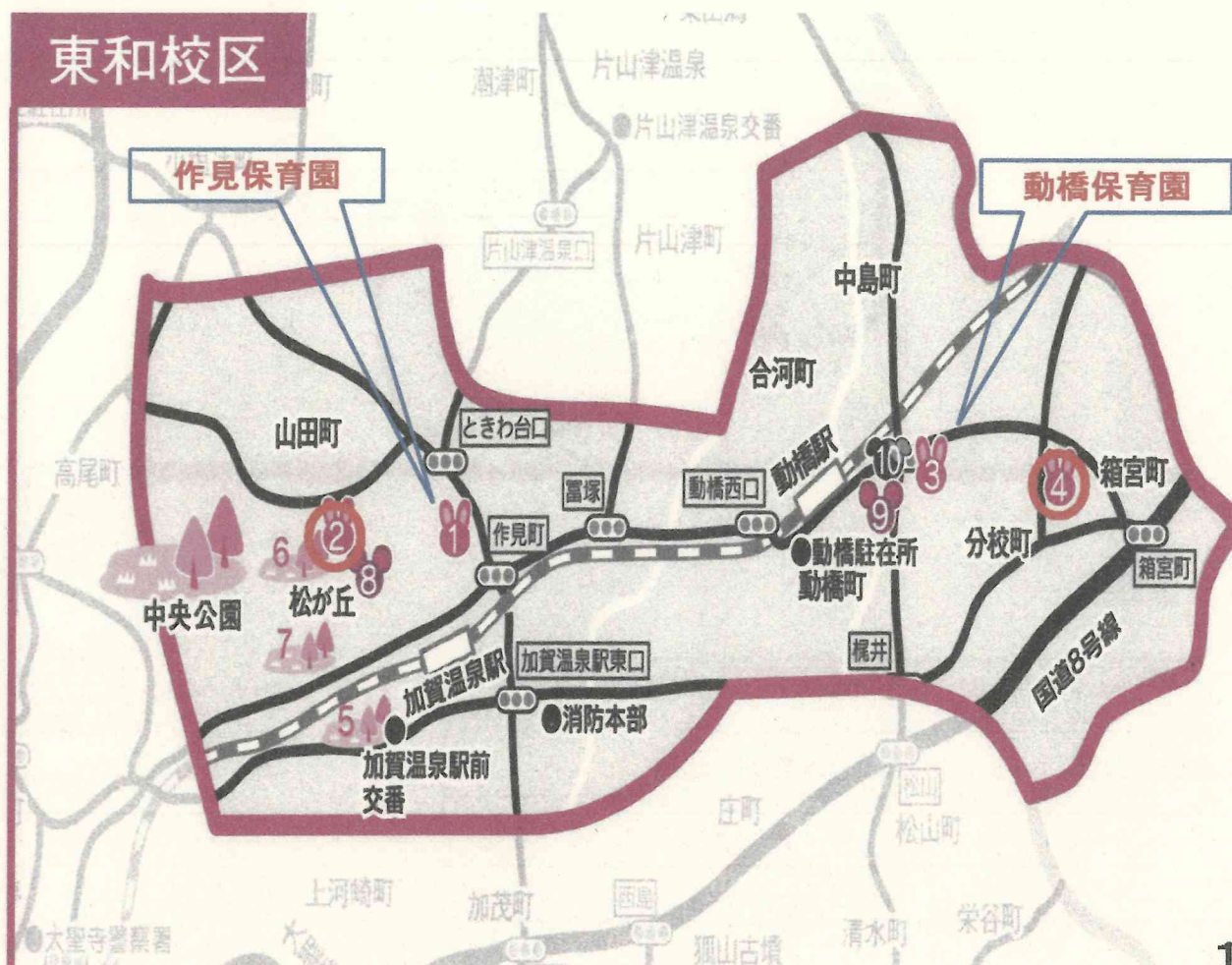
	定員	児童数	小規模	標準未満	その他
金明保育園	65人	40人		○	
湖北保育園	65人	41人		○	
潮津保育園	30人	14人	●		H28.4見込 9名+新入園児
合計	160人	95人			

	法人立	定員	入園数	充足率
4	キッズランドいなみえん (認定こども園)	240人	227人	94.6%

H27.4.1現在

11

東和校区



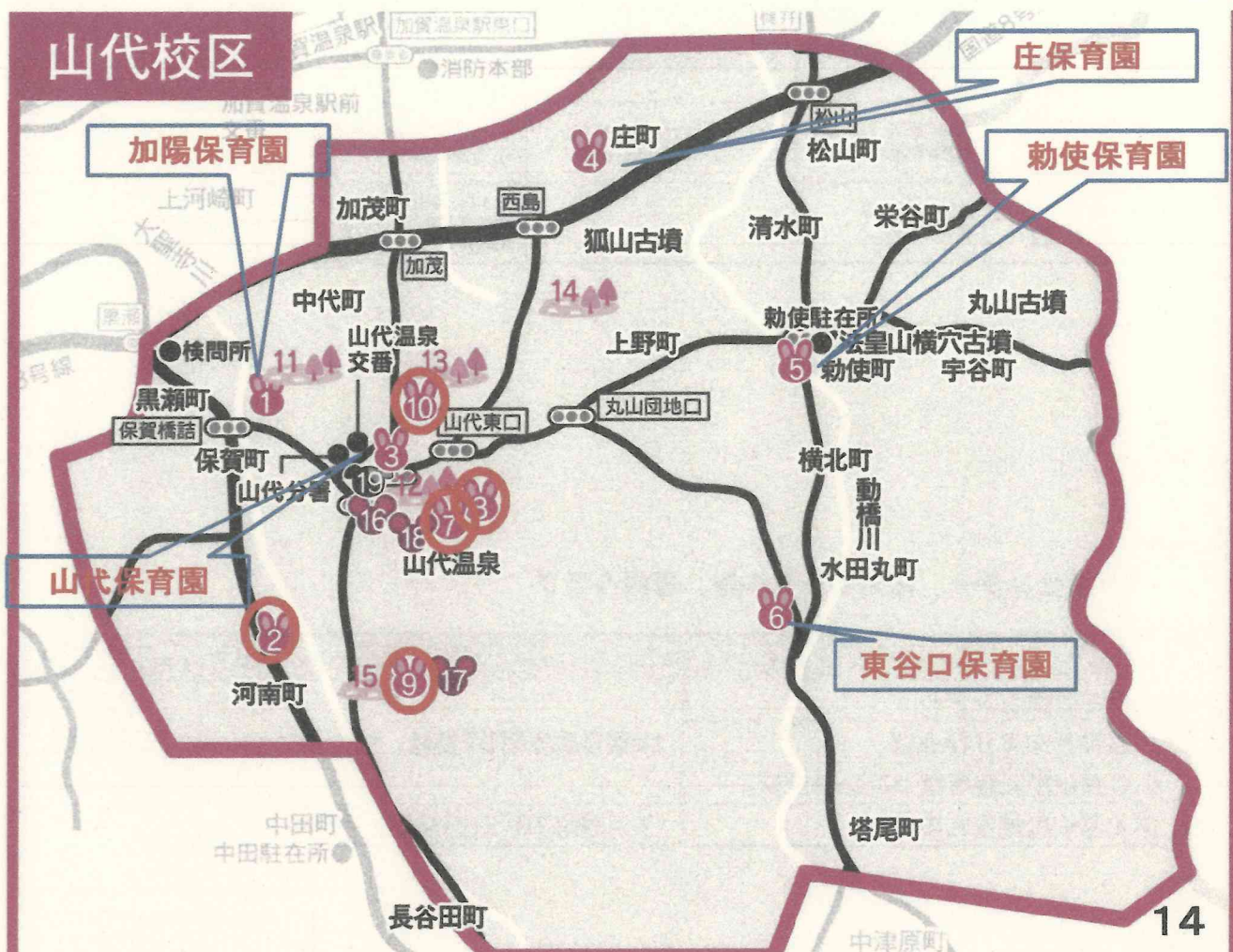
12

	定員	児童数	小規模	標準未満	その他
作見保育園	70人	55人		○	H28改修
動橋保育園	165人	160人			H28改修
合 計	235人	215人			

法人立	定員	入園数	充足率
2松が丘保育園	190人	183人	96.3%
4清心保育園	110人	110人	100.0%
合 計	300人	293人	97.7%

H27.4.1現在

13

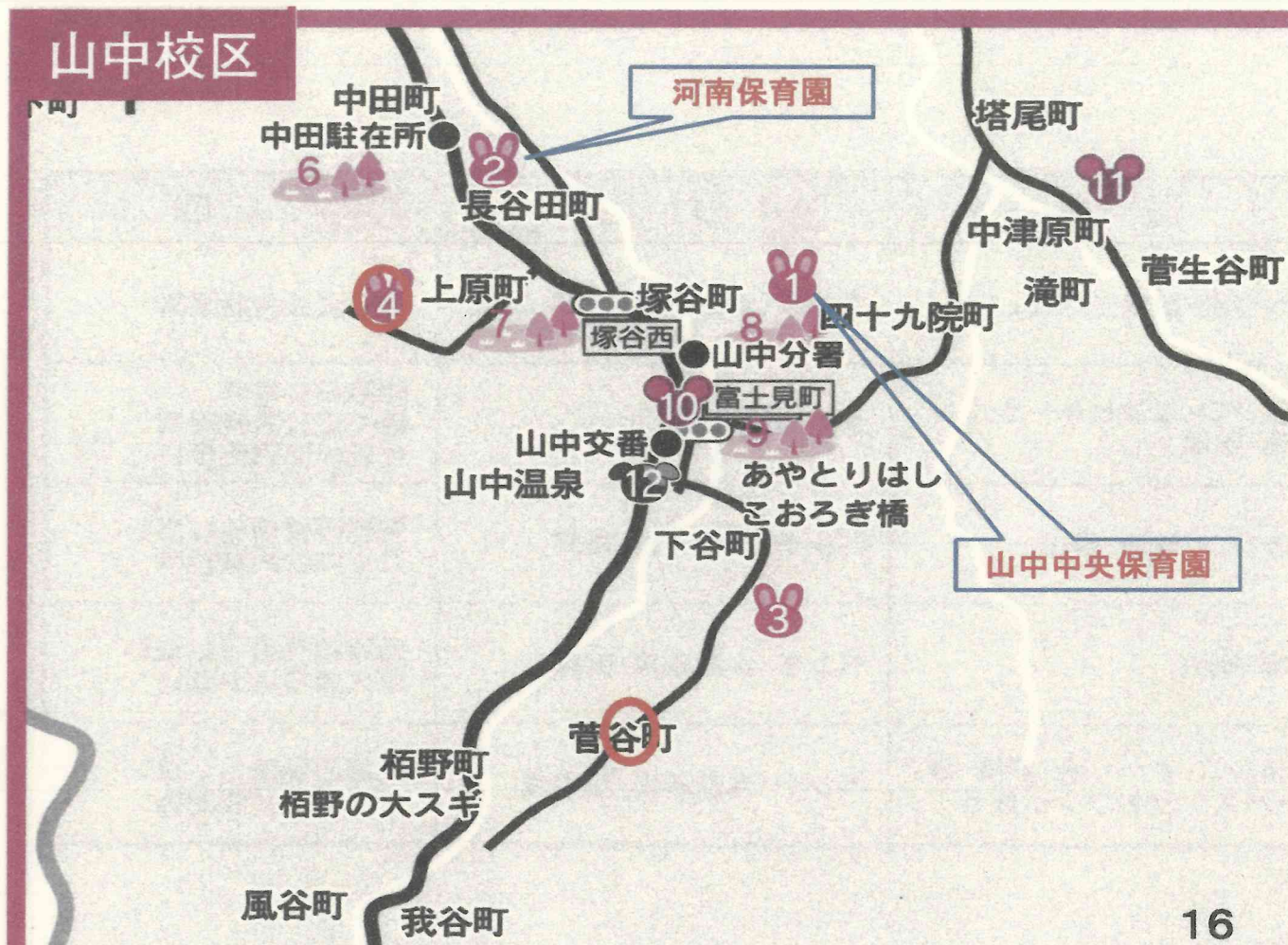


	定員	児童数	小規模	標準未満	その他
加陽保育園	80人	74人		○	
山代保育園	40人	21人	●		
庄保育園	60人	36人		○	
勅使保育園	40人	26人	●		
東谷口保育園	30人	22人	●		
合 計	250人	179人			

法人	定員	計	充足率
2新生保育園	110人	110人	100.0%
7やくおうえん	60人	46人	76.7%
8第2やくおうえん	20人	14人	70.0%
9わかたけ保育園	160人	156人	97.5%
10開陽保育園	120人	113人	94.2%
合 計	470人	439人	93.4%

H27.4.1現在

山中校区



16

	定員	児童数	小規模	標準未満	その他
山中中央保育園	65人	43人		○	(H27.1)温泉区人口 2,671人
河南保育園	65人	43人		○	(H27.1)河南区人口 4,190人
合 計	130人	86人			

	法人立	定員	入園数	充足率
3	山中ふたば保育園	80人	72人	90.0%
4	山中保育園	80人	78人	97.5%
	合 計	160人	150人	93.8%

H27.4.1現在

校 区	N o	保育園	定 員 (人)	児童数 (人)	H28.4	H33.4	H37.4
錦 城	1	大聖寺保育園	60	45	4	1	1
	2	錦城保育園	50	27			
	3	三木保育園	30	17			
	4	三谷保育園	30	13			
	小計		170	102			
橋立	1	橋立保育園	95	69	1	↔	1
片 山 津	1	金明保育園	65	40	3	2	1
	2	湖北保育園	65	41			
	3	潮津保育園	30	14			
	小計		160	95			
東 和	1	作見保育園	70	55	2	↔	2
	2	動橋保育園	165	160			
	小計		235	215			
山 代	1	加陽保育園	80	74	5	2	1
	2	山代保育園	40	21			
	3	庄保育園	60	36			
	4	勅使保育園	40	26			
	5	東谷口保育園	30	22			
	小計		250	179			
山 中	1	山中中央保育園	65	43	2	2	1
	2	河南保育園	65	43			
	小計		130	86			
合計			1,040	746	17	10	7

※ 定員及び児童数：H27.4.1 現在

こども分科会

【平成 28 年度活動計画について】

●重点事業

子育て安心パッケージ

1 第 3 子プレミアム応援

3 人以上の子供がいる「多子世帯」の経済的負担を軽減するもの。

(1) 多子世帯放課後児童クラブ利用助成事業

放課後児童クラブの利用者のうち、18 歳未満の子どもが 3 人以上いる世帯の 3 番目以降の子どもの保育料を無料化とするもの。

(2) 多子世帯児童生徒給食助成事業

3 番目以降の子どもの小中学校等の給食費を無料化とするもの。

2 (仮称)子育て世代包括支援センター開設事業

保健センターで実施している、妊娠期、出産期の支援を行う母子保健型の利用者支援事業に加えて、子育て期の利用者支援事業を行うもの。専門職が当事者目線で子育て家庭の個別のニーズを把握しながら、総合的にコーディネートし、妊娠期から子育て期まで、切れ目のない相談支援を行うもの。

3 (仮称)楽しい遊び場構想基本計画策定事業

市内に遊び場が少ないとの保護者などの声を受けて、小さい子どもたちが天候に左右されず、安全に遊べ、駐車スペースが十分確保されるなど、子育て世代のニーズに対応した「魅力ある楽しい遊び場」を整備するための基本構想を策定するもの。

○第 1 回健康福祉審議会こども分科会（第 1 回子ども・子育て会議） 【4 月開催予定】

- 1 「健康福祉審議会こども分科会（子ども・子育て会議）」について
- 2 平成 28 年度「子育て支援施策主要事業」の概要について
- 3 (仮称)子育て世代包括支援センター設置検討専門部会の設置について
- 4 (仮称)楽しい遊び場構想基本計画策定事業について
- 5 公立保育園再編基本計画について

◎健康福祉審議会こども分科会 《専門部会》 【5 月～8 月開催予定】

- | | | |
|---|----------------------------------|-----------|
| { | 第 1 回専門部会（現状把握、要因分析、対策、先進地視察報告等） | 【5 月開催予定】 |
| | 第 2 回専門部会（支援体制の検討①） | 【6 月開催予定】 |
| | 第 3 回専門部会（支援体制の検討②） | 【7 月開催予定】 |
| | 第 4 回専門部会（まとめ） | 【8 月開催予定】 |

○第 2 回健康福祉審議会こども分科会（第 2 回子ども・子育て会議） 【8 月開催予定】

- 1 (仮称)子育て世代包括支援センター設置検討専門部会の経過報告について
- 2 (仮称)楽しい遊び場構想基本計画策定事業の経過報告について
- 3 公立保育園再編基本計画の進捗状況について

○第3回健康福祉審議会こども分科会（第3回子ども・子育て会議） 【9月開催予定】

- 1 （仮称）子育て世代包括支援センター設置検討専門部会の経過報告について
- 2 （仮称）楽しい遊び場構想基本計画策定事業の経過報告について
- 3 公立保育園再編基本計画の進捗状況について

○第4回健康福祉審議会こども分科会（第4回子ども・子育て会議） 【2月開催予定】

- 1 （仮称）子育て世代包括支援センター運営状況および移転について
- 2 （仮称）楽しい遊び場構想基本計画について
- 3 公立保育園再編基本計画の進捗状況について

【資料等】 子育て安心パッケージ・・・・・・資料8-1

子育て安心パッケージ

資料8-1

新

2016



第3子プレミアム応援



子育て世代包括支援センター



楽しい遊び場整備



2015



1

保育料軽減



2

こども医療費助成



3

出産準備手当



4

3世代同居近居支援



第3子プレミアム応援

1



第3子プレミアム応援

多子世帯の経済的負担を軽減

急速な少子化の進行に歯止めをかけ、3人以上の子供がいる「多子世帯」の負担を軽減します。

- (第3子以降)学校給食費 **無料化**
- (第3子以降)学童保育料 **無料化**

	内容等	対象者等		所用見込額等
県内初 学校給食費	【第3子以降の】 小学校・中学校の 給食費を助成	小学生	約400人	@53,204円/年
		中学生	約140人	@63,936円/年
		合計	約540人	30,000千円
学童保育	【第3子以降の】 学童保育の保育料を 助成	延べ	約1,000人 @12,000/月	12,000千円

2

(仮称)子育て世代包括支援センター開設

2



子育て世代包括
支援センター

「妊娠期」→「出産期」→
「子育て期」まで**切れ目の
ない支援**を実施

◎ 概要

核家族が増え、孤立や不安を感じる人も少なくない。
専門職が当事者目線で子育て家庭の個別のニーズを把握しながら、総合的にコーディネートする。

◎ 開設予定

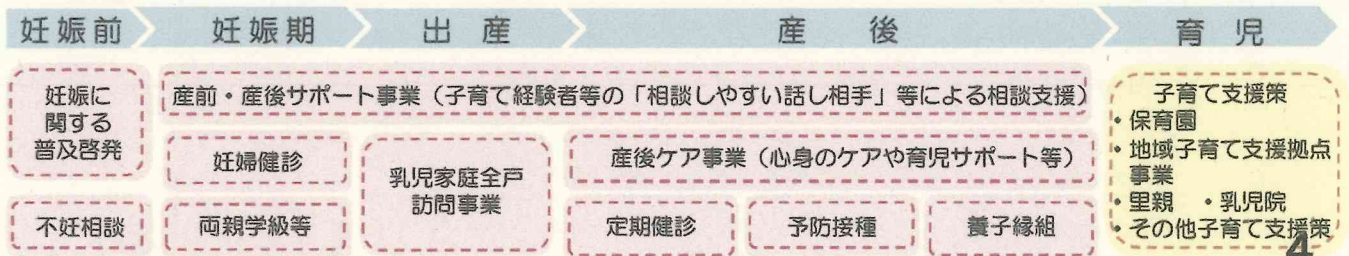
平成28年10月

加賀市保健センター内(市民病院跡施設の改修工事後、移転予定)

3

利用者支援事業（母子保健型）と利用者支援事業（育児支援型）を同一施設で一体的に実施

（事業イメージ） 利用者支援事業（母子保健型）、利用者支援事業（基本型）の両事業を同一の施設で、両事業のコーディネーターが同じ場所で1つのチームとなって実施する。



子どもの楽しい遊び場づくり

3



楽しい遊び場整備

「魅力ある楽しい遊び場」を整備

◎ 子育て世代の声

- ・ 加賀市は、無料で遊べる施設が少ないイメージがある。
- ・ 子育て世帯が外出する場合、屋根のあるところは安心感がある。
- ・ 遊具は、古くなったり壊れたりしたら撤去されることが多く、その場所の魅力がなくなる。

◎ スケジュール等

- ・ 児童の保護者等からご意見を伺い、基本計画を策定
- ・ 平成29年度中の完成（予定）